

留学やインターンシップを通じて得た成果について発表した報告会
＝佐世保市、長崎短大



地域密着型 学外学習 学生が成果発表

活性化策模索など

長崎短大

佐世保近郊

県北 対馬 壱岐 五島

長崎短大(安部恵美子学長)は2日、行政や地元住民と連携し展開している地域密着型学外学習事業「Awesome Sasebo! Project」の成果報告会を開き、学生が留学やインターンシップ(就業体験)などを通じ学んだことを発表した。事業は、社会人となる上で必要な基礎力の向上を図り、地域の職を支える人材を育てようと本年度から開始。同短大は新年度から4学期制を導入し、事業をさらに充実させる方針。

同市椎木町の同短大であった報告会には約100人

が参加し、学生が写真などを使い発表した。カナダや韓国、英国へ留学した学生は「海外へ出ること、日本の良さや弱点を見つめ直すことができた。この経験を生かせる仕事に就きたい」と感想を述べた。黒島の地域活性化策を模索したグループは「泊2日のツアーを提案し「今後、改善しながら実行に結び付けて」と、研究を後輩に託した。

(永江倫子)